

筑波大学から医学の教育研究に関するお願い

この度は献体の趣旨にご賛同頂き、改めて心から御礼申し上げます。筑波大学医学群ではお預かりいたしましたご遺体は、医学や看護・医療科学で医師や高度医療技術者を目指す学生の解剖学教育のために使わせて頂いて参りました。ご存じのようにこの教育で行われる解剖実習は、学生に人体構造を正確に理解させ、将来の医療現場で求められる解剖学的知識を習得させることはもとより、人の生命の尊さを改めて認識させるとともに、学生各自に医師や医療技術者としての心構えを自覚させる重要な教育科目です。

さて、最近の医療は目覚ましい発展をとげて参りました。これは、多くの方々の献体という尊いご遺志とご家族の皆様による支えがあつて初めて成し遂げられたものです。しかしながら、残念なことにまだ診断や治療法が確立していない多くの疾病が残されています。これらの難病を克服するためには、人体解剖を基礎とする医学の教育研究を更に推進させる必要があると思います。今日までの医学・医療科学の発展の歴史から明らかのように、医学的疑問や医療技術の問題点の究明においては、ご遺体と臓器等の身体の一部の実物標本を用いて行う教育研究に勝る方法はありません。このような理由から、筑波大学では、医学の教育研究に使用させて頂くためのご遺体とその部分標本の保管並びに使用に對して、ご本人とご家族にご承諾をお願い致しております。また、昨今の外科手術手技の発展と共に、卒後教育の一貫として新しい治療技術の習得が必須となっております。このため、外科手術手技研修におけるご遺体の使用の許可を頂きたくお願い申し上げます。ぜひ、この趣旨をご理解頂いて、ご承諾を頂きますようお願い申し上げます。

(なお、これらのお願いは決して強制するものではありません。当然のことながら、個人のプライバシーの守秘に関しては厳守致します。また、ご承諾頂けない場合には、ご遺体を従来通り学生の実習に使用させて頂き、部分標本としての保管や技術研修での使用は致しません)

各位

筑波大学医学群長